

ひろばちがさき

No. 951

新政ちがさき

2011年12月9日

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1市役所内0467 (82) 1111

新政ちがさき有志	
岸 正 明	87-8766
こいそ妙子	52-6731
和 田 清	84-9969
よしかわ和夫	86-0032
西田 淳一	83-7293

2011年 第4回定例市議会 12月1日 よしかわ和夫議員 一般質問

茅ヶ崎市政の「危機管理体制」を問う

【よしかわ】 危機管理の視点からの防災対策は？

【市の回答】 地域防災計画の見直しや、業務継続計画の策定、初動体制の充実、実行計画の進捗状況の管理を継続的に行い、津波監視カメラの設置、多様な情報伝達の確保のほか、津波ハザードマップの見直しを行ってまいります。また、4月から現在まで、本市の職員が被災地での避難所支援や行政支援から学んだことを、今後の業務に活かし、職員が一丸となって危機管理に努めてまいりたいと考えております。

【よしかわ】 同じく危機管理の視点から見た交通安全は（特に自転車）？

【市の回答】 警視庁は、自転車事故防止対策として、自転車が歩道を走行できる場合の範囲を2メートル以上（幅員）から3メートル以上の歩道としており、神奈川県警も年内に自転車走行の基準を決めるとしています。市としても、基準に従い、ルール順守及びマナー向上に対する取り組みを強化し、自転車の安全利用及び事故防止を図っていききたい。この見直しにより、少なからず車道上の自転車走行が増加すると見込まれますので、自動車のドライバーに対しても、車道上を走行する自転車には十分配慮するよう周知啓発する必要があると考えております。今後も、自転車利用者の安全に対する意識が浸透し、事故が減少し、自転車を安全で快適に利用することが当たり前のこととなるようなまちづくりを目指してまいります。

「財政難の中での知恵」を発揮した市政実現を！

【よしかわ】 コミバス事業の見直しや今後の方向性や考え方は？

【市の回答】 今後、超高齢社会がさらに進むなかで、高齢者等の皆様の移動手段として、コミュニティバスの果たす役割はますます大きくなっていくことが予想されます。地域の皆様のご意見等をいただきながらニーズの把握や費用対効果の検証を行うとともに、市内交通を総合的に議論する場として、改正道路運送法に基づく地域公共交通会議を今年度設置し、その中で運行改善等の検討を行っていく予定であります。

【よしかわ】 県より移譲される予定の「柳島キャンプ場」の運営は？

【市の回答】 キャンプ場の現状を把握し、課題を考慮しつつ、気軽に安心して利用できるよう、時代のニーズに合わせた快適性や使いやすさの向上が必要であると考えます。また、地域の将来像や特性を視野に入れながら、段階的に他のキャンプ場との差別化を図りアピールすることで、新たなターゲットを掘り起こすなど、多くの利用者の確保できる施設にしてまいりたいと考えます。

個々の事業について、質問しましたが、これらは、「危機管理」・「知恵」の視点から問うたものです。市政は、納税者である市民の立場に立った事業展開が求められています。一つ一つの事業は地道であり、最大多数の幸福を求め思いきった判断をすることであり、弱者への気遣いであり、国や県ではできない住民に寄り添った政治だと考えます。